

京都工芸繊維大学
京都府立大学
京都府立医科大学

平成26年4月から京都三大学の「教養教育共同化」が始まります。

共同化の趣旨

三大学は、それぞれ100年を超える歴史を持ち、国内外で活躍する有為な人材を多く輩出してきましたが、変化の激しい今日において、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、次の3点をねらいとして取り組みます。

- ①三大学は個々に規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供し、学生の科目選択の幅を広げ、学習意欲を一層高めること
②文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を創り出すこと
③学生間での交流や討論、共同学修が進むよう学生参画型の授業を広げていくこと

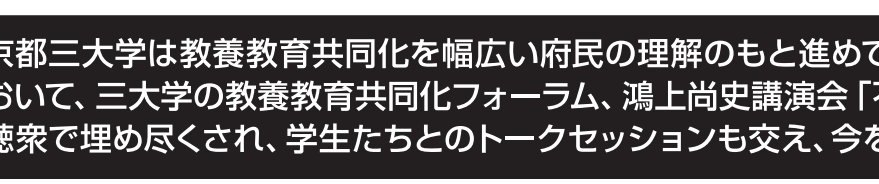
教育の目標

グローバル化や少子高齢化の進展など課題が山積する中で、多様な事象に関心を持ち、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性を持つ人材の育成を目指して次の3点から取組を進めます

- A 人文・社会・自然諸分野の基礎を幅広く修得し、これらへの高い関心を育てる
B 世界の人々の多様な生き方を感じ、豊かな人間性と高い倫理観を涵養する
C 日々社会に生じる種々の問題において、真理や正義を探究する議論に習熟する



1階には、3大学の学生が共同で学ぶための最大100~200名収容の講義室が計6室、また、府民の方もご利用いただけるレストラン等の設備が予定されています。



この施設の建設には、稲盛和夫氏(京セラ株式会社名誉会長)から、20億円のご寄附をいただき、施設名を「稲盛記念会館」と命名されました。

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、各大学の特徴・強みを活かしたカリキュラムを提供し、学生の多様な関心に応え、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図っていくため、平成26年度から全国初となる教養教育共同化をスタートします。

交流しながら学ぶ新しい学修空間を創出

共同化 Q&A

Q. なぜ三大学で取り組むのですか

A. 三大学は、キャンパスが近接して、従来から単位互換や課外活動等で学生・教員の交流が進んでいます。その蓄積を踏まえ、全国初の取り組みとして進めようとするものです。

Q. どのように教養教育共同化は行われるのですか

A. 三大学の学生が一堂に会して学ぶようにする必要がありますが、現在、各大学ともキャンパスが手狭なため、府立大学の敷地内に教養教育共同化施設(仮称)の整備が京都府によって進められています。この施設で各大学から提供された科目の授業が行われ、三大学の学生の皆さんが混在して一緒に学ぶことになります。

Q. 来年度から始まる共同化の内容はどのようなものですか

A. 初年度の平成26年度は、共同化科目として、人文系21科目、社会系21科目、自然系19科目の61科目に加え、少人数による討論等を中心としたリベラルアーツ・ゼミナール7科目の計68科目でスタートします。これにより三大学の学生の科目選択の幅が2~5倍と大きく増加し、諸分野をバランス良く履修することができます。

Q. 共同化カリキュラムにはどのような特長がありますか

A. 各大学からその強みと特徴を生かした科目が提供されていますが、特に京都という地の地域的、歴史的、文化的特色を生かした10科目の「京都学」が提供されます。そのうち1科目は「京都学事始—近代京都と三大学」として三大学の足跡を見詰める京都の近代化の様相を概観するリレー講義方式の新設科目も予定しています。

Q. 共同化科目の授業はどのように行われるのですか

A. 各大学の年間のスケジュール(学年暦)はそれぞれ異なっていますが、三大学の学生が一緒に学ぶようにするため学年暦を調整し、来年度は月曜午後の3つの時限に集中して共同化科目を提供することとしています。なお、リベラルアーツ・ゼミナールの一部は冬期等に集中して開講する予定です。

Q. 共同化科目の単位はどのように扱われるのですか

A. 各大学から提供された共同化科目は、それぞれの大学が自ら提供する科目と原則として同じように取り扱うこととしています。したがって、学生が所属する各大学において、自大学の科目として単位認定を行います。

Q. 今後共同化の取組はどのように展開していくのですか

A. 学修状況や授業の成果、学生からの要望等を踏まえつつ、科目の拡大等共同化の更なる展開に向けて検討を進めます。また、従来から実施してきた三大学の教養教育単位互換の取組も充実を図りつつ継続します。さらに、講演会やシンポジウム等によって取組状況をお知らせし、また、生涯学習の機会としても提供していきます。

京大三大学共同化教養教育のカリキュラム

各科目が、A.幅広い知識の修得、B.多様な人間世界の事象に触れ生き方を感じ思考する、C.真理と正義に係る多面的な議論や論考に習熟する、A.B.C.のどの性格を持つかを示し、科目選択の参考となるようにします。

Table with 4 columns: 人間と文化(21科目), 人間と社会(21科目), 人間と自然(19科目), リベラルアーツ・ゼミナール(7科目). Each column lists specific subjects and their descriptions.

京大三大学は教養教育共同化を幅広い府民の理解のもと進めていくため、様々な取り組みを行っています。去る11月16日には京都府立大学において、三大学の教養教育共同化フォーラム、鴻上尚史講演会「不安を楽しめ!」が開催されました。会場は学生、OB、一般の人など約300人の聴衆で埋め尽くされ、学生たちとのトークセッションも交え、今を生きる上でのヒントが語られました。

「考えること」と「悩むこと」

この二つの違いをいけば「考える」は提案が浮かび、「悩む」は提案が浮かばない。不安になると考える前に価値判断してしまう。こうした思考停止の状態から不安が生まれる。相手が敵か味方か第一印象で判断するクセがある人はそのクセから離れること。クセとはオートマチックなもので思考停止の状態。そこにはトリアルやチャレンジはないし、表現はオートマチック状態からは生まれない。好き嫌い、0か100かは子どもの発想。実社会に0か100はない。どこまで歩み寄れるか、一緒にできるかを明確にするのが大人のやり方だ。

コミュニケーションとは

コミュニケーションというお互い分かり合おうことのようなが、実は「私」と「あなた」の違いを明確にすることがコミュニケーションの目的。互いの違いを認め合うことが重要なのだ。「友だち100人できるかな」と、新1年生に言ったりするが、「友だち100人」できない僕最低だ、と不安になったりする。本当は「気の合う人がいた?」と聞いてあげろ。友だち100人とか「みんな仲よし」とかはオートマチック。つまり思考停止の状態。不安になると考える前に判断しがただが、「なぜ不安で、どういメカニズムで不安になるのか」自分で考えて判断するのが生きていく知恵といえる。

世間と社会

日本人は世間 一自分にとって利害・人間関係が生じる空間 一には気を使うが、社会 一自分とは直接関係のない人々 一には気を使わない民族。世間に扱われて不安を感じるのはここにとっぴり浸かっているための思考停止状態であるからといえる。この数十年の間に大きな会社がどんどんつぶれた。今や大抵3年くらいの周期で不安になって当たり前。クリアに未来が見える方がおかしい。今こそ「不安とつきあう」技術を磨き、その根源へのアプローチを試みるべき。



作家・演出家。1958年愛媛県生まれ。1981年劇団「第三舞台」を結成。紀伊國屋演劇賞、ゴールデントロフィー賞、岸田國士戯曲賞など受賞。現在は「KOKAMI@network」「座構の劇団」での作・演出を中心に活動。映画監督、脚本家、イベント、テレビの司会、ラジオパーソナリティ等としても幅広く活動している。

三大学教養教育共同化フォーラムを支えた学生たち

トークセッションの企画、DVDの制作は京都府立大学の清水美優さんを中心に京都工芸繊維大学から3名、京都府立医科大学から3名、京都府立大学から清水さんも含め75名の20歳~28歳の学生が参加した。準備は10月頃から始まり、「不安って何?」というテーマでDVDを制作しようとしたが、個人によって大きく異なるため「だったら直接聞いちゃえ」と、三大学を回って学生から直接「今不安に感じていること」を質問した。その結果、現代学生が色濃く反映されたDVDが完成。講演会の後で上映した。



参加無料 三大学教養教育共同化フォーラム 「教養の時代」がやってきた 日時 平成26年 1/25(土) 13:30~16:30 場所 キャンパスプラザ京都 4階第2講義室

【受付】1月8日(水)~16日(木) 必着(先着240名まで) (上記の期間外に到着した分は受付できませんので、ご了承下さい。) 【申込方法】参加ご希望の方は、往復はがき、あるいはメールにお名前、お電話番号を明記の上、申込先へお送り下さい。(1連につき2名様まで) 往復はがきの返信用には、参加される方の宛先(ご住所)をお書き下さい。 【申込先】 京都三大学教養教育研究・推進機構 〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町65 グラスビル北山201号室 E-mail:kyouyou@kpu.ac.jp

【内容】【基調講演】池上彰 【パネルディスカッション】桑子敏雄、池上彰、築山崇 桑子敏雄氏 池上彰氏 築山崇氏 問い合わせ先 京大三大学教養教育研究・推進機構 TEL 075-706-5136